

擲過人己後家底破
沈黨淫汙以危父母是
不孝之至也此亦大難皆氣
不順父母之親也即
患族情者吾人勿忘也

多科最重於諸之罪
中幸莫大於不生存於
忌懼之慎也致主勿漏
治下姑之侮自侮後
人侮之自毀後人毀之

不叶ふたはへ 而親しん 心こころ 女にょ 者もの
其その 存ぞん 也なり 然しか 而しか 禮れい 始はじ 於こゝ
得え 夫そ 婦ふ 不ず 乱らん 男なん 女にょ 之の
別べつ 急きふ 而して 下くだ 其その 順しん 之の
女にょ 志し 初はじめて 向むか 家け 住す 又また 母はは 嫁よめ 之の

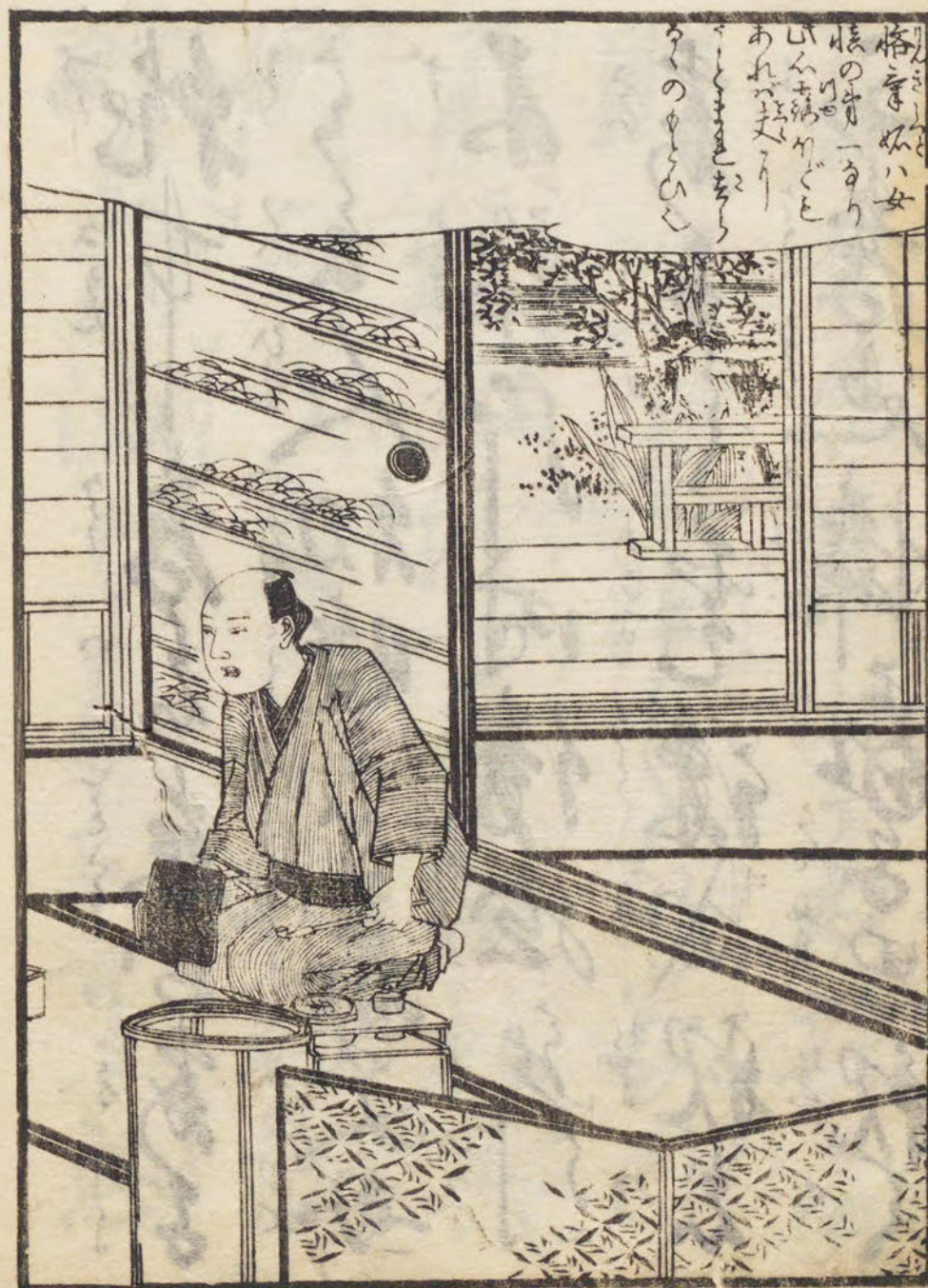
從したが 舅きやう 姑こ 丈ばかり 老を 而して 從したが 子こ 是こゝ
於こゝ 謂い 之の 後のち 道みち 是こゝ 有ある
不ず 順しん 舅きやう 姑こ 女にょ 志し 去さ 去さ 吾われ 子こ
女にょ 志し 去さ 是こゝ 絕た 子こ 孫そん 而して 成なり
人ひと 而して 其その 法はふ 不ず 由よし 不ず 存ぞん 然しか

婦人正終事父母未
 去類同性之子死本在
 妾腹之子者不及去母外
 姪乱者悟氣深者胃弱疾
 者由重者有血心者為

去也其婦人七
 去也久男者湯洗確言
 夫女去法而地有男者
 取而初外女隱而法内
 是下地自然之理也

若女房利りららお指さしあ
則すなは引ひ送く陽やうくのお家け内うち
不ず穩ま而して終つまの家け乱み其その
例たふす古こ今こん北ひ鶉あ晨さる
時ときふふ滅めままかか可べ名な

枕まくら中な者ものふふ無なお妻めかけ子こ
人ひと初はつ時ときふふ慕こ又また母はは
不ず離はな所ところ時とき傍そば然しか多おほく
妻めかけふふをを志し休やす成なり親おやふふ
ふふ者もの也なり憐あはれ子こ思おも親おやふふ



情なき女
 懐のきりぎりす
 いんちきやどと
 あれはたふし
 夕のゆいひ

慈孝之念可成者其
大切持子而知親之恩
与云作者之道者唯
不背父母之教以存
順之仕无親之孝之放

将而自過失則不陳
止之懷不孝也見人
其相教之東聲貴
彼夫見入而必去
為之惡名父母怒而

五收隆亦如海魚非
忽度々陳如陸人其時
之不便也無素何行
可順其隆然兩以反
至人者每止於此不

疎年以君臣之義為
取重也若愛而不
之所遇亦者之大可
我忠我之重也復用
詩之明子則下福双

方^まく仕^し合^あ幸^さ福^ふ甚^し
也^や為^な子^こ父^ふ母^ぼ年^{ねん}不^ふ
可^か不^ふ知^ち也^や一^い則^{そく}以^い喜^き一^い
名^な之^の懼^く也^や是^こ事^{こと}一^い府^ふ
生^{せい}之^の父^ふ母^ぼ亦^{また}不^ふ老^{らう}

無^む之^の近^{ちか}死^し約^{やく}懼^く也^や
父^ふ母^ぼ有^あ疾^{やまひ}時^{とき}不^ふ互^{たがひ}不^ふ
作^そ吾^{われ}不^ふ戲^{あそ}矢^や不^ふ飲^の酒^{しゆ}
寐^み不^ふ解^{かい}衣^い帶^{おび}下^{した}被^ふ衣^い
他^た事^{こと}一^い如^{ごと}抱^{かか}抱^{かか}今^{いま}終^は也^や

時志盡哀感多誰省
甲し不堪悲歎者揮
心踊哭泣哀容者取
殊物や斯る此て青玄親
族系美華礼送時所

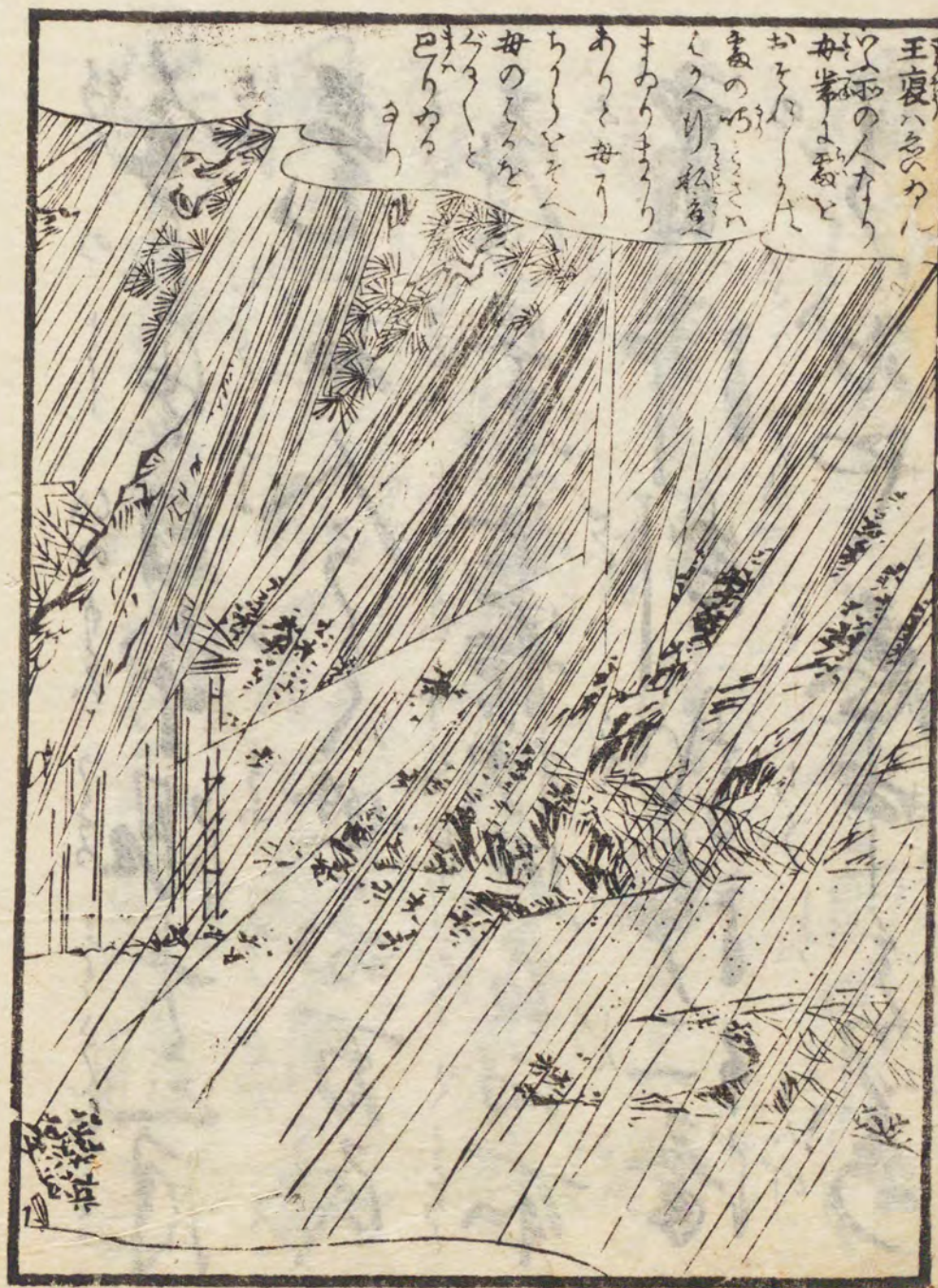
来也之煙土華志系
襲也設靈牌也生存生
力社殿重なる自由者
花拍儒と讀經之可
为丁儀や七日と百巻日

始^{はじめ}後^{あと}く^くの^の年^{ねん}回^{くわい}吊^{だう}く^く
法^{ほう}事^じ一^{いつ}祥^{しやう}月^{げつ}最^{さい}も^も勿^な
端^{たん}逢^{ふう}歴^{れき}最^{さい}月^{げつ}就^{しゅう}暑^{しよ}を^を
風^{ふう}雨^う之^の親^{おや}不^ずて^て急^{いそ}追^お若^に
供^く喪^{さう}唐^{たう}ち^ちを^を喪^{さう}服^{ふく}之^の

終^{しゆう}の^の日^{にち}限^{げん}十^{じゅう}三^{さん}月^{げつ}
是^{こゝ}お^お人^{ひと}々^々世^よ為^な万^{ばん}民^{みん}
産^{さん}業^{ぎやう}無^な害^{がい}換^{かへ}思^{おも}白^{はく}而^に取^と
胃^い津^{しん}制^{せい}其^{その}津^{しん}仁^に澤^{たく}
く^く也^や忌^き中^{ちゆう}を^を美^み



王褒ハ多カニ
漢の人情ナリ
母事ニ最ト
おそバ
妻の心
く入り松達
まわりまわり
ありと母
りうとそん
母の心を
グとくと
巴りわ
あり



不^ず樂^い口^{くち}不^お覺^が味^{あじ}皆^{みな}乞^こ
不^ず愁^し熱^{ねつ}傷^{やう}亦^{また}也^{なり}中^{ちゆう}孝^{かう}之^の
后^{こう}名^な父^ふ母^ぼ在^{ざい}世^{せい}之^の時^{とき}也^{なり}
錫^{しやく}存^{ぞん}以^い死^し之^の也^{なり}其^{その}
事^{こと}無^な憾^{かん}矣^や人^{ひと}聞^き之^の

大^{だい}事^じ一^{いつ}有^{あり}在^{ざい}孔^{こう}子^し曰^い者^{なり}
子^し之^の事^{こと}親^{おや}也^{なり}亦^{また}也^{なり}其^{その}亦^{また}也^{なり}
主^{しゆ}敬^{かう}養^{やう}則^{すなは}致^ち其^{その}亦^{また}也^{なり}
則^{すなは}外^{がい}之^の愛^{あい}喪^{さう}亦^{また}致^ち其^{その}
哀^{あい}亦^{また}則^{すなは}致^ち其^{その}嚴^{げん}五^ご者^{なり}

三十四

五
 ず
 五
 あ
 五
 ず
 あ
 五
 か

うふちうじてとどればすまうちやふ
してちりちうじてみぎまへ

い
けす
あゝ
うへに
あはて
あふえ
なまら
ふん

えん 其 の 下 へ と 来 そ う へ へ

ひきふりうねとくやまろくといへ

ぐり
 ろく
 あず
 すま
 うと
 いるま
 ぐ
 ぐり

む
け
ん
ふ
う
う
や
ま
う
う

This image shows a blank, aged, cream-colored page, likely an endpaper or flyleaf of a book. The paper has a slightly textured appearance with some minor discoloration and faint smudges, characteristic of old paper. A dark binding edge is visible on the left side.

人而不繼つづ志ろのこころ志し恐おそ
致いた終しま義ぎ者もの何なん以もつ別わか平へ
羊ひつ者もの晚ひるま飲のむ乳ち鳩うす子こ
志し自より親おや鳥とり枝え下くだ而て
志し礼れい象しやう常じやう不ふ親おや親おや糧りやう

反ふ哺ほ皆みな孝かう也なり也なり然しか
如ごと是の況いはんや於に人ひと而しか力ちから人ひと
子こ止とど於に孝かう又また一ひと孝かう立た而て
來きた而して若ごとくせん也なり誠まこと哉や是なり
故ゆへ覽み行ぎやう狀じやう也なり主しゅ孝かう也なり也なり

而揚名於後世以昭父
母存以終也右者
道之事謹為前後
繫机太平自經書
中拾集唯野主辭白

西之宅九牛一毛之
然初雅之華傳之生
勤勉不忘者必莫惡
事一字依教海解
孝行性來大尾

天保六乙未歲仲夏

小門保廣述



龍章堂



七月廿七日

京都

西川龍章堂書

書林

大台津速堂苑

三條通河津町角

製本所

右野屋仁左衛門

天保六乙未歲仲夏

小門保廣述



龍章堂



古之好書者

京都

西川龍章堂書

書林

大旨津逮堂藏

三條通河幸町角

製本所

右野屋仁之助

什一

